

# 「障がいのある児童生徒などへの配慮」 各教科等コーディネートアイデア（例）

## \*\*\* 目次 \*\*\*

1	国語編	1
2	社会編・地理歴史・公民編	3
3	算数編・数学編	5
4	理科編	7
5	生活編	9
6	音楽編	10
7	図画工作編・美術編	12
8	体育編（小学校）	14
9	保健体育編（中学校）	15
10	家庭編、技術・家庭編	17
11	外国語編	19
12	特別の教科 道徳編	21
13	総合的な学習の時間編・総合的な探究の時間編	22
14	特別活動編	23
15	高等学校 理数編	24
16	高等学校 保健体育編・体育編	25
17	高等学校 芸術（音楽）編、音楽編	27
18	高等学校 芸術（美術）編、美術編	28
19	高等学校 芸術（工芸 書道）編	29
20	高等学校 家庭編	30
21	高等学校 情報編①	32
22	高等学校 情報編②	34
23	高等学校 農業編	36
24	高等学校 工業編	37
25	高等学校 商業編	38
26	高等学校 看護編	39
27	高等学校 水産編	40
28	高等学校 福祉編	41

〈参考資料〉小・中学校、高等学校におけるインクルーシブ教育システム推進のための  
コーディネートハンドブック〔2020年版〕P.90～91 . . . 42

各項目に「【10の視点】から予想される困難さ」が示されています。【10の視点】については、参考資料（P.42～43）をご覧ください。なお、コーディネートハンドブック〔2020年版〕は、当センターWebサイトに掲載されていますので、ご活用ください。

## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～国語編～



小学校学習指導要領解説国語編・中学校学習指導要領解説国語編・高等学校学習指導要領解説国語編に掲載されている内容をまとめました。

### 【小学校 国語の配慮例】

#### 1 文章を目で追いながら音読することが困難な場合



【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

自分がどこを読むのかが分かるように教科書の文を指等で押さえながら読むよう促すこと、行間を空けるために拡大コピーをしたものを用意すること、語のまとまりや区切りが分かるように分かち書きされたものを用意すること、読む部分だけが見える自助具（スリット等）を活用することなどの配慮をする。



#### 2 自分の立場以外の視点で考えたり他者の感情を理解したりするのが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ⑧人間関係形成の困難さ ⑨読み書きや計算等の困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

児童の日常的な生活経験に関する例文を示し、行動や会話文に気持ちが込められていることに気付かせたり、気持ちの移り変わりが分かる文章の中のキーワードを示したり、気持ちの変化を図や矢印などで視覚的に分かるように示してから言葉で表現させたりするなどの配慮をする。



#### 3 声を出して発表することに困難がある場合や

##### 人前で話すことへの不安を抱いている場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑥発音のしにくさ ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ  
⑨読み書きや計算等の困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

紙やホワイトボードに書いたものを提示したり、ICT機器を活用して発表したりするなど、多様な表現方法が選択できるように工夫し、自分の考えを表すことに対する自信がもてるような配慮をする。

## 【中学校・高等学校 国語の配慮例】

### 1 自分の立場以外の視点で考えたり他者の感情を理解したりするのが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ⑧人間関係形成の困難さ ⑨読み書きや計算等の困難さ

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒が身近に感じられる文章（例えば、同年代の主人公の物語など）を取り上げ、文章に表れている心情やその変化等が分かるよう、行動の描写や会話文に含まれている気持ちがよく伝わってくる語句等に気付かせたり、心情の移り変わりが分かる文章の中のキーワードを示したり、心情の変化を図や矢印などで視覚的に分かるように示してから言葉で表現させたりするなどの配慮をする。

### 2 比較的長い文章を書くなど、一定量の文字を書くことが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ③道具の操作の困難さ ⑨読み書きや計算等の困難さ

⑩注意の集中を持続することが苦手

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

文字を書く負担を軽減するため、手書きだけではなくICT機器を使って文章を書くことができるようにするなどの配慮をする。



### 3 声を出して発表することに困難がある場合や

#### 人前で話すことへの不安を抱いている場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑥発音のしにくさ ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ

⑨読み書きや計算等の困難さ

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

紙やホワイトボードに書いたものを提示したりICT機器を活用したりして発表するなど、多様な表現方法が選択できるように工夫し、自分の考えを表すことに対する自信がもてるような配慮をする。



障がいのある児童生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～社会編・地理歴史・公民編～



小学校学習指導要領解説社会編・中学校学習指導要領解説社会編・高等学校学習指導要領解説地理歴史編・公民編に掲載されている内容をまとめました。

### 【小学校 社会の配慮例】

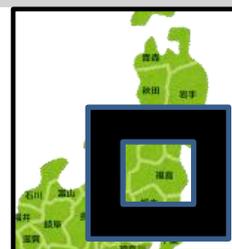
#### 1 地図等の資料から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

読み取りやすくするために、地図等の情報を拡大したり、見る範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にするなどの配慮をする。



#### 2 社会的事象に興味・関心がもてない場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑦心理的な不安定 ⑩注意の集中を持続することが苦手

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

その社会的事象の意味を理解しやすくするため、社会の営みと身近な生活がつながっていることを実感できるよう、特別活動などとの関連付けなどを通して、具体的な体験や作業などを取り入れ、学習の順序を分かりやすく説明し、安心して学習できるよう配慮することなどが考えられる。



#### 3 学習問題に気付くことが難しい場合・予想を立てることが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ

⑩注意の集中を持続することが苦手

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

社会的事象を読み取りやすくするために、写真などの資料や発問を工夫すること。また、見通しがもてるようヒントになる事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにすること、そして、情報収集や考察、まとめの場面において、考える際の視点が定まらない場合には、見本を示したワークシートを作成するなどの指導の工夫が考えられる。



## 【中学校 社会の配慮例】 【高等学校 地理歴史・公民の配慮例】

### 1 地図等の資料から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが困難な場合

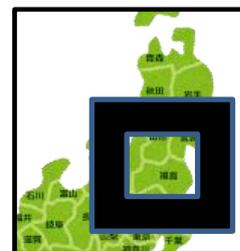
【10の視点】から予想される困難さ

（例） ①見えにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手



<そのための指導の工夫の意図、手立て>

読み取りやすくするために、地図等の情報を拡大したり、見る範囲を限定したりして、掲載されている情報を精選し、視点を明確にするなどの配慮をする。



### 2 社会的事象等に興味・関心がもてない場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ⑦心理的な不安定 ⑩注意の集中を持続することが苦手



<そのための指導の工夫の意図、手立て>

その社会的事象等の意味を理解しやすくするため、社会の動きと身近な生活がつながっていることを実感できるよう、特別活動などとの関連付けなどを通して、実際的な体験を取り入れ、学習の順序を分かりやすく説明し、安心して学習できるようにするなどの配慮をする。

### 3 学習過程における動機付けの場面において学習上の課題を見いだすことが難しい場合 方向付けの場面において、予想を立てることが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

社会的事象等を読み取りやすくするために、写真などの資料や発問を工夫すること。また、見通しがもてるようヒントになる事実をカード等に整理して示し、学習順序を考えられるようにすること。そして、情報収集や考察、まとめの場面において、どの観点で考えるのか難しい場合には、ヒントが記入されているワークシートを作成することなどの配慮をする。



障がいのある児童生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～算数編、数学編～



小学校学習指導要領解説算数編・中学校学習指導要領解説数学編・高等学校学習指導要領解説数学編に掲載されている内容をまとめました。

### 【小学校 算数の配慮例】

#### 1 「商」「等しい」など、児童が日常使用することが少なく、

抽象度の高い言葉の理解が困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

児童が具体的にイメージをもつことができるよう、児童の興味・関心や生活経験に関連の深い題材を取り上げて、既習の言葉や分かる言葉に置き換えるなどの配慮をする。

#### 2 文章を読み取り、数量の関係を式を用いて表すことが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

児童が数量の関係をイメージできるように、児童の経験に基づいた場面や興味ある題材を取り上げ、場面を具体物を用いて動作化させたり、解決に必要な情報に注目できるよう文章を一部分ごとに示したり、図式化したりすることなどの工夫を行う。



#### 3 空間図形のもつ性質を理解することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ（例） ①見えにくさ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

空間における直線や平面の位置関係をイメージできるように、立体模型で特徴のある部分を触らせるなどしながら、言葉でその特徴を説明したり、見取図や展開図と見比べて位置関係を把握したりするなどの工夫を行う。



#### 4 データを目的に応じてグラフに表すことが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ（例） ①見えにくさ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

目的に応じたグラフの表し方があることを理解するために、同じデータについて折れ線グラフの縦軸の幅を変えたグラフに表したり、同じデータを棒グラフや折れ線グラフ、帯グラフなど違うグラフに表したりして見比べることを通して、よりよい表し方に気付くことができるようにする。



## 【中学校・高等学校 数学の配慮例】

### 1 文章を読み取り、数量の関係を文字式を用いて表すことが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒が数量の関係をイメージできるように、生徒の経験に基づいた場面や興味のある題材を取り上げ、解決に必要な情報に注目できるよう印を付けさせたり、場面を図式化したりすることなどの工夫を行う。



### 2 空間図形のもつ性質を理解することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

空間における直線や平面の位置関係をイメージできるように、立体模型で特徴のある部分を触らせるなどしながら、言葉でその特徴を説明したり、見取図や投影図と見比べて位置関係を把握したりするなどの工夫を行う。



数学科における配慮の例は二つですが、生徒の困難さに応じて、小学校学習指導要領解説算数編で示されている配慮の例が参考になります。



障がいのある児童生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～理科編～



小学校学習指導要領解説理科編・中学校学習指導要領解説理科編・高等学校学習指導要領理科編に掲載されている内容をまとめました。

### 【小学校 理科の配慮例】

#### 1 実験を行う活動において、実験の手順や方法を理解することが困難であったり、見通しがもてなかったりして、学習活動に参加することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ⑦心理的な不安定 ⑩注意の集中を持続することが苦手

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

学習の見通しがもてるよう、実験の目的を明示したり、実験の手順や方法を視覚的に表したプリント等を掲示したり、配付したりするなどが考えられる。



#### 2 燃焼実験のように危険を伴う学習活動において、危険に気付きにくい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ③道具の操作の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

教師が確実に様子を把握できる場所で活動できるようにするなどの配慮が考えられる。

#### 3 自然の事物・現象を観察する活動において、時間をかけて観察することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ  
⑩注意の集中を持続することが苦手

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

観察するポイントを示したり、ICT教材を活用したりするなどの配慮が考えられる。



## 【中学校・高等学校 理科の配慮例】

### 1 実験を行う活動において、実験の手順や方法を理解することが困難である場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ①見えにくさ ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手



＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

見通しがもてるよう、実験の操作手順を具体的に明示したり、扱いやすい実験器具を用いたりするなどの配慮をする。

### 2 燃焼実験のように危険を伴う学習活動

【10の視点】から予想される困難さ

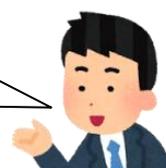
（例） ③道具の操作の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手



＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

教師が確実に様子を把握できる場所で活動させるなどの配慮をする。

理科における配慮の例は二つですが、生徒の困難さに応じて、小学校学習指導要領解説理科編で示されている配慮の例が参考になります。



障がいのある児童生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～生活編～



小学校学習指導要領解説生活編に掲載されている内容をまとめました。

### 【小学校 生活の配慮例】

#### 1 言葉での説明や指示だけでは、安全に気を付けることが難しい児童の場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

その説明や指示の意味を理解し、なぜ危険なのかをイメージできるように、体験的な事前学習を行うなどの配慮をする。

#### 2 みんなで使うもの等を大切に扱うことが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ③道具の操作の困難さ ⑧人間関係形成の困難さ

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

大切に扱うことの意義や他者の思いを理解できるように、学習場面に即して、児童の生活経験等も踏まえながら具体的に教えるように配慮する。



#### 3 自分の経験を文章にしたり、考えをまとめたりすることが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

児童がどのように考えればよいのか、具体的なイメージを想起しやすいように、考える項目や順序を示したプリントを準備したり、事前に自分の考えたことを言葉や動作で表現したりしてから文章を書くようにするなどの配慮をする。

#### 4 学習の振り返りの場面において学習内容の想起が難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

\* 記憶や言語に関する困難さ

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

学習経過を思い出しやすいように、学習経過などの分かる文章や写真、イラスト等を活用するなどの配慮をする。



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～音楽編～



小学校学習指導要領解説音楽編・中学校学習指導要領解説音楽編に掲載されている内容をまとめました。  
\* 高等学校については、「芸術（音楽）編 音楽編」をご覧ください。

### 【小学校 音楽の配慮例】

#### 1 音楽を形づくっている要素（リズム、速度、旋律、強弱、反復等）の

聴き取りが難しい場合



【10の視点】から予想される困難さ

（例）②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手 \* 記憶に関する困難さ

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

要素に着目しやすくなるよう、音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりするなどして、要素の表れ方を視覚化、動作化するなどの配慮をする。なお、動作化する際は、決められた動きのパターンを習得するような活動にならないよう留意する。

#### 2 多くの声部が並列している楽譜など、情報量が多く、

自分がどこに注目したらよいのか混乱しやすい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）①見えにくさ ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

拡大楽譜などを用いて声部を色分けしたり、リズムや旋律を部分的に取り出してカードにしたりするなど、視覚的に情報を整理するなどの配慮をする。



## 【中学校 音楽の配慮例】

### 1 音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など）を知覚することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手  
\* 記憶に関する困難さ



#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

要素に着目しやすくできるように、音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりするなどして、要素の表れ方を視覚化、動作化するなどの配慮をする。なお、動作化する際は、決められた動きのパターンを習得するような活動にならないよう留意する。

### 2 音楽を聴くことによって自分の内面に生まれる様々なイメージや感情を言語化することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ②聞こえにくさ \* 言語活動の苦手さ



#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

表現したい言葉を思い出すきっかけとなるよう、イメージや感情を表す形容詞などのキーワードを示し、選択できるようにするなどの配慮をする。



障がいのある児童生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～図画工作編、美術編～



小学校学習指導要領解説図画工作編・中学校学習指導要領解説美術編に掲載されている内容をまとめました。

\* 高等学校については、「芸術（美術）編 美術編」をご覧ください。

### 【小学校 図画工作の配慮】

#### 1 変化を見分けたり、微妙な違いを感じ取ったりすることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ（例） ①見えにくさ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

造形的な特徴を理解し、技能を習得するように、児童の経験や実態を考慮して、特徴が分かりやすいものを例示したり、多様な材料や用具を用意したり、種類や数を絞ったりするなどの配慮をする。



#### 2 形や色などの特徴を捉えることや、自分のイメージをもつことが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ①見えにくさ \* 形や様子を抽象的に捉えることが苦手

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

形や色などに気付くことや自分のイメージをもつことのきっかけを得られるように、自分や友人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定するなどの配慮をする。



## 【中学校 美術の配慮例】

### 1 形や色彩などの変化を見分けたり、微妙な変化を感じ取ったりすることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ（例） ①見えにくさ

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

生徒の実態やこれまでの経験に応じて、造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを例示することや、一人一人が自分に合ったものが選べるように、多様な材料や用具を用意したり種類や数を絞ったり、造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを例示したりするなどの配慮をする。



### 2 造形的な特徴などからイメージを捉えることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ①見えにくさ \*形や様子を抽象的に捉えることが苦手

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

形や色などに対する気付きや豊かなイメージにつながるように、自分や他の人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定するなどが考えられる。



障がいのある児童生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～体育編（小学校）～



小学校学習指導要領解説体育編に掲載されている内容をまとめました。

### 【小学校 体育の配慮例】

#### 1 複雑な動きをしたり、バランスを取ったりすることに困難がある場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）①見えにくさ \*ボディイメージの把握の困難さ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

極度の不器用さや動きを組み立てることへの苦手さがあることが考えられることから、動きを細分化して指導したり、適切に補助しながら行ったりするなどの配慮をする。



#### 2 勝ち負けにこだわったり、負けた際に感情を抑えられなかったりする場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

活動の見通しがもてなかったり、考えたことや思ったことをすぐに行動に移してしまったりすることがあることから、活動の見通しを立ててから活動させたり、勝ったときや負けたときの表現の仕方を事前に確認したりするなどの配慮をする。



#### その他 考えられる配慮

運動領域の指導に当たっては、当該児童の運動（遊び）の行い方を工夫するとともに、活動の場や用具、補助の仕方に配慮するなど、困難さに応じた手立てを講じることが大切である。また、保健領域においても、新たに示された不安や悩みなどへの対処やけがの手当などの技能の実技指導については、運動領域の指導と同様の配慮をすることが大切である。



障がいのある児童生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～保健体育編（中学校）～



中学校学習指導要領解説保健体育編に掲載されている内容をまとめました。

\* 高等学校については、「保健体育編・体育編（高等学校）」をご覧ください。

### 【中学校 保健体育の配慮】

#### 1 見えにくさのため活動に制限がある場合

身体の動きに制約があり、活動に制限がある場合



【10の視点】から予想される困難さ

（例） ①見えにくさ ③道具の操作の困難さ ④移動上の制限 ⑤健康面や安全面での制約

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

不安を軽減したり安全に実施したりすることができるよう、活動場所や動きを事前に確認したり、仲間同士で声を掛け合う方法を事前に決めたり、音が出る用具を使用したりするなどの配慮をする。

生徒の実情に応じて仲間と積極的に活動できるよう、用具やルールの変更を行ったり、それらの変更について仲間と話し合う活動を行ったり、必要に応じて補助用具の活用を図ったりするなどの配慮をする。

#### 2 リズムやタイミングに合わせて動くことや複雑な動きをすること、

ボールや用具の操作等が難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ②聞こえにくさ ③道具の操作の困難さ \*ボディイメージの把握の困難さ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

動きを理解したり、自ら積極的に動いたりすることができるよう、動きを視覚的又は言語情報に変更したり簡素化したりして提示する、動かす体の部位を意識させる、操作が易しい用具の使用や用具の大きさを工夫したりするなどの配慮をする。

#### 3 試合や記録測定、発表などの状況の変化への対応が求められる学習活動への

参加が難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒の実情に応じて状況の変化に対応できるようにするために、挑戦することを認め合う雰囲気づくりに配慮したり、ルールの弾力化や場面設定の簡略化を図ったりするなどの配慮をする。

**4 日常生活とは異なる環境での活動が難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ⑦心理的な不安定

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

不安を解消できるよう、学習の順序や具体的な内容を段階的に説明するなどの配慮をする。

**5 対人関係への不安が強く、他者の体に直接触れることが難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

仲間とともに活動することができるよう、ロープやタオルなどの補助用具を用いるなどの配慮をする。

**6 自分の力をコントロールすることが難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

状況に応じて力のコントロールができるよう、力の出し方を視覚化したり、力の入れ方を数値化したりするなどの配慮をする。

**7 勝ち負けや記録にこだわり過ぎて、感情をコントロールすることが難しい**

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞



状況に応じて感情がコントロールできるよう、事前に活動の見通しを立てたり、勝ったときや負けたとき等の感情の表し方について確認したりするなどの配慮をする。

**8 グループでの準備や役割分担が難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ⑧人間関係形成の困難さ

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

準備の必要性やチームで果たす役割の意味について理解することができるよう、準備や役割分担の視覚的な明示や生徒の実情に応じて取り組むことができる役割から段階的に取り組ませるなどの配慮をする。

**9 保健の学習で、実習などの学習活動に参加することが難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ①見えにくさ ②聞こえにくさ

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

実習の手順や方法が理解できるよう、それらを視覚的に示したり、一つ一つの技能を個別に指導したりするなどの配慮をする。

## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～家庭編、技術・家庭編～



小学校学習指導要領解説家庭編・中学校学習指導要領解説技術・家庭編に掲載されている内容をまとめました。  
\* 高等学校については、「家庭編（高等学校）」をご覧ください。

### 【小学校 家庭の配慮例】

#### 1 学習に集中したり、持続したりすることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手



<そのための指導の工夫の意図、手立て>

落ち着いて学習できるようにするため、道具や材料を必要最小限に抑えて準備したり、整理・整頓された学習環境で学習できるよう工夫したりすることが考えられる。

#### 2 活動への関心をもつことが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑦心理的な不安定 ⑩注意の集中を持続することが苦手



<そのための指導の工夫の意図、手立て>

約束や注意点、手順等を視覚的に捉えられる掲示物やカードを明示したり、体感できる教材・教具を活用したりして関心を高めることが考えられる。

#### 3 周囲の状況に気が散りやすく、包丁、アイロン、ミシンなどの用具を

安全に使用することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ③道具の操作の困難さ  
⑦心理的な不安定  
⑩注意の集中を持続することが苦手

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

手元に集中して安全に作業に取り組めるよう、個別の対応ができるような作業スペースや作業時間を確保することなどが考えられる。



## 【中学校 技術・家庭の配慮例】

### 1 技術分野では「A材料と加工の技術」の(2)において、周囲の状況に気が散りやすく、加工用の工具や機器を安全に使用することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ③道具の操作の困難さ ⑩注意の集中を持続すること

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

障害の状態に応じて、手元に集中して安全に作業に取り組めるように、個別の対応ができるような作業スペースや作業時間を確保したり、作業を補助するジグを用いたりすることが考えられる。

### 2 「D情報の技術」の(2)及び(3)において、

#### 新たなプログラムを設計することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続すること

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒が考えやすいように、教師があらかじめ用意した幾つかの見本となるプログラムをデータとして準備し、一部を自分なりに改良できるようにするなど、難易度の調整や段階的な指導に配慮することが考えられる。



### 3 家庭分野では、「B衣食住の生活」の(3)及び(5)において、調理や製作などの実習を行う際、学習活動の見通しをもったり、安全に用具等を使用したりすることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ③道具の操作の困難さ ⑦心理的な不安定 ⑩注意の集中を持続すること

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

個に応じて段階的に手順を写真やイラストで提示することや、安全への配慮を徹底するために、実習中の約束事を決め、随時生徒が視覚的に確認できるようにすることなどが考えられる。

### 4 グループで活動することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑧人間関係の困難さ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

他の生徒と協力する具体的な内容を明確にして役割分担したり、役割が実行できたかを振り返ることができるようにしたりすることなどが考えられる。



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～外国語編～



小学校学習指導要領解説外国語編・中学校学習指導要領解説外国語編・高等学校学習指導要領外国語編に掲載されている内容をまとめました。

### 【小学校 外国語の配慮例】

#### 1 音声を聞き取ることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ②聞こえにくさ



##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

外国語と日本語の音声やリズムの違いに気付くことができるよう、リズムやイントネーションを、教員が手拍子を打つ、音の強弱を手を上下に動かして表すなどの配慮をする。また、本時の流れが分かるように、本時の活動の流れを黒板に記載しておくなどの配慮をする。

#### 2 1単語当たりの文字数が多い単語や、文などの文字情報になると、 読む手掛かりをつかんだり、細部に注意を向けたりするのが難しい児童の場合

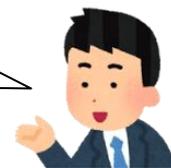
【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ①見えにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

語のまとまりや文の構成を見て捉えやすくするよう、外国語の文字を提示する際に字体をそろえたり、線上に文字を書いたりする。また、語彙・表現などを記したカードなどを黒板に貼る際には、貼る位置や順番などに配慮する。



小学校3・4年生で取り組む外国語活動  
における配慮では、「1 音声を聞き取る  
ことが難しい場合」が記載されており、外  
国語科と同じ配慮の例が示されています。



## 【中学校・高等学校 外国語の配慮例】

### 1 英語の語には、発音と綴りの関係に必ずしも規則性があるとは限らないものが多く、明確な規則にこだわって強い不安や抵抗感を抱いてしまう生徒の場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑦心理的な不安定さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

語を書いたり発音したりすることをねらう活動では、その場で発音することを求めず、ねらいに沿って安心して取り組めるようにしたり、似た規則の語を選んで扱うことで、安心して発音できるようにしたりするなどの配慮をする。



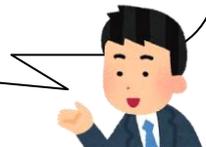
中学校・高等学校の外国語科における配慮の例は一つですが、生徒の困難さに応じて、

小学校学習指導要領解説外国語編で示されている

「1 音声を聞き取ることが難しい場合」

「2 1単語当たりの文字数が多い単語や、文などの文字情報になると、読む手掛かりをつかんだり、細部に注意を向けたりするのが難しい児童の場合」

の配慮の例が参考になります。



障がいのある児童生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～特別の教科 道徳編～



小学校学習指導要領解説特別の教科道徳編・中学校学習指導要領解説特別の教科道徳編に掲載されている内容をまとめました。示されている配慮の例が同じことから、小・中学校をまとめて掲載します。

### 【小学校・中学校 特別の教科 道徳の配慮例】

#### 他者との社会的関係の形成に困難がある児童（生徒）の場合

【10の視点】から予想される困難さ（例） ⑧人間関係形成の困難さ



##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

相手の気持ちを想像することが苦手なことで字義通りの解釈をしてしまうことがあることや、暗黙のルールや一般的な常識が理解できないことがあることなど困難さの状況を十分に理解した上で、例えば、他者の心情を理解するために役割を交代して動作化、劇化したり、ルールを明文化したりするなど、学習過程において想定される困難さとそれに対する指導上の工夫が必要である。

##### 評価を行うに当たって

評価を行うに当たっても、困難さの状況ごとの配慮を踏まえることが必要である。前述のような配慮を伴った指導を行った結果として、相手の意見を取り入れつつ自分の考えを深めているかなど、児童（生徒）が多面的・多角的な見方へ発展させていたり道徳的価値を自分のこととして捉えていたりしているかといったことを丁寧に見取る必要がある。

##### 発達障害等のある児童の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握するため

道徳的価値の理解を深めていることをどのように見取るのかという評価資料を集めたり、集めた資料を検討したりするに当たっては、相手の気持ちを想像することが苦手なことや、望ましいと分かっているにもかかわらずできないことがあるなど、一人一人の障害により学習上の困難さの状況をしっかりと踏まえた上で、評価することが重要である。

道徳科の評価は他の児童（生徒）<sup>\*1</sup>との比較による評価や目標への到達度を測る評価ではなく、一人一人の児童（生徒）がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価として行うことから、このような道徳科の評価本来の在り方を追究していくことが、一人一人の学習上の困難さに応じた評価につながるものと考えられる。

\*1（生徒）は中学校学習指導要領で表記



平成28年7月に出された『「特別の教科 道徳」の指導方法・評価等について（報告）』（道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議：文部科学省）においても、発達障がい等のある児童生徒に対する道徳科の指導について具体的な例が示されています。

## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～外国語編～



小学校学習指導要領解説外国語編・中学校学習指導要領解説外国語編・高等学校学習指導要領外国語編に掲載されている内容をまとめました。

### 【小学校 外国語の配慮例】

#### 1 音声を聞き取ることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ②聞こえにくさ



##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

外国語と日本語の音声やリズムの違いに気付くことができるよう、リズムやイントネーションを、教員が手拍子を打つ、音の強弱を手を上下に動かして表すなどの配慮をする。また、本時の流れが分かるように、本時の活動の流れを黒板に記載しておくなどの配慮をする。

#### 2 1単語当たりの文字数が多い単語や、文などの文字情報になると、 読む手掛かりをつかんだり、細部に注意を向けたりするのが難しい児童の場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ①見えにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

語のまとまりや文の構成を見て捉えやすくするよう、外国語の文字を提示する際に字体をそろえたり、線上に文字を書いたりする。また、語彙・表現などを記したカードなどを黒板に貼る際には、貼る位置や順番などに配慮する。



小学校3・4年生で取り組む外国語活動  
における配慮では、「1 音声を聞き取る  
ことが難しい場合」が記載されており、外  
国語科と同じ配慮の例が示されています。



## 【中学校・高等学校 外国語の配慮例】

### 1 英語の語には、発音と綴りの関係に必ずしも規則性があるとは限らないものが多く、明確な規則にこだわって強い不安や抵抗感を抱いてしまう生徒の場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑦心理的な不安定さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

語を書いたり発音したりすることをねらう活動では、その場で発音することを求めず、ねらいに沿って安心して取り組めるようにしたり、似た規則の語を選んで扱うことで、安心して発音できるようにしたりするなどの配慮をする。



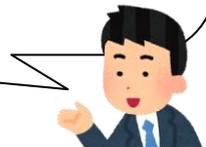
中学校・高等学校の外国語科における配慮の例は一つですが、生徒の困難さに応じて、

小学校学習指導要領解説外国語編で示されている

「1 音声を聞き取ることが難しい場合」

「2 1単語当たりの文字数が多い単語や、文などの文字情報になると、読む手掛かりをつかんだり、細部に注意を向けたりするのが難しい児童の場合」

の配慮の例が参考になります。



障がいのある児童生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～特別活動編～



小学校学習指導要領解説特別活動編・中学校学習指導要領解説特別活動編・高等学校学習指導要領特別活動編に掲載されている内容をまとめました。示されている配慮の例が同じことから、小学校・中学校・高等学校をまとめて掲載しています。

### 【小学校・中学校・高等学校 特別活動の配慮例】

#### 1 相手の気持ちを察したり理解することが苦手な児童（生徒）には

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ⑧人間関係形成の困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

他者の心情等を理解しやすいように、役割を交代して相手の気持ちを考えたり、相手の意図を理解しやすい場面に置き換えることや、イラスト等を活用して視覚的に表したりする指導を取り入れるなどの配慮をする。

#### 2 話を最後まで聞いて答えることが苦手な場合には

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

発言するタイミングが理解できるように、事前に発言や質問する際のタイミングなどについて具体的に伝えるなど、コミュニケーションの図り方についての指導をする。



#### 3 学校行事における避難訓練等の参加に対し、強い不安を抱いたり戸惑ったりする場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ⑦心理的な不安定

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

見通しがもてるよう、各活動や学校行事のねらいや活動の内容、役割(得意なこと)の分担などについて、視覚化したり、理解しやすい方法を用いたりして事前指導を行うとともに、周囲の児童（生徒）\*<sup>1</sup>に協力を依頼しておく。



\* 1（生徒）は中学校・高等学校学習指導要領で表記

# 障がいのある児童生徒などへの配慮

## ～理数編～



高等学校学習指導要領解説理数編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 理数の配慮例】

#### 1 文章を読み取り、数量の関係を文字式を用いて表すことが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒が数量の関係をイメージできるように、生徒の経験に基づいた場面や興味のある題材を取り上げ、解決に必要な情報に注目できるよう印を付けさせたり、場面を図式化したりすることなどの工夫を行う。



#### 2 空間図形のもつ性質を理解することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

空間における直線や平面の位置関係をイメージできるように、立体模型で特徴のある部分を触らせるなどしながら、言葉でその特徴を説明したり、見取図や投影図と見比べて位置関係を把握したりするなどの工夫を行う。



#### 3 実験を行う活動において、実験の手順や方法を理解することが困難である場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

見通しがもてるよう実験の操作手順を具体的に明示したり、扱いやすい実験器具を用いたりするなどの配慮をする。

#### 4 燃焼実験のように危険を伴う学習活動

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ③道具の操作の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

教師が確実に様子を把握できる場所で活動させるなどの配慮をする。



理数科における配慮の例は四つですが、中学校・高等学校学習指導要領の理科と数学の配慮例と同じ内容になります。生徒の困難さに応じて、小学校学習指導要領解説算数編・理科編で示されている配慮の例も参考になります。



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～保健体育編・体育編（高等学校）～



高等学校学習指導要領解説保健体育編・体育編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 保健体育の配慮例】 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「体育」の配慮例】

#### 1 見えにくさのため活動に制限がある場合

【10の視点】から予想される困難さ  
 (例) ①見えにくさ ③道具の操作の困難さ ④移動上の制限 ⑦心理的な不安定  
 <そのための指導の工夫の意図、手立て>

不安を軽減したり安全に実施したりすることができるよう、活動場所や動きを事前に確認したり、仲間同士で声を掛け合う方法を事前に決めたり、音が出る用具を使用したりするなどの配慮をする。

#### 2 身体の動きに制約があり、活動に制限がある場合

【10の視点】から予想される困難さ  
 (例) ③道具の操作の困難さ ④移動上の制限 ⑤健康面や安全面での制約  
 <そのための指導の工夫の意図、手立て>



生徒の実情に応じて仲間と積極的に活動できるよう、用具やルールの変更を行ったり、それらの変更について仲間と話し合う活動を行ったり、必要に応じて補助用具の活用を図ったりするなどの配慮をする。

#### 3 リズムやタイミングに合わせて動くことや複雑な動きをすること、 ボールや用具の操作等が難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
 (例) ②聞こえにくさ ③道具の操作の困難さ \*ボディイメージの把握の困難さ  
 <そのための指導の工夫の意図、手立て>

動きを理解したり、自ら積極的に動いたりすることができるよう、動きを視覚的又は言語情報に変更したり簡素化したりして提示する、動かす体の部位を意識させる、操作が易しい用具の使用や用具の大きさを工夫したりするなどの配慮をする。

#### 4 試合や記録測定、発表などの状況の変化への対応が求められる学習活動への 参加が難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
 (例) ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ  
 <そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒の実情に応じて状況の変化に対応できるようにするために、挑戦することを認め合う雰囲気づくりに配慮したり、ルールの弾力化や場面設定の簡略化を図ったりするなどの配慮をする。

**5 日常生活とは異なる環境での活動が難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ⑦心理的な不安定

&lt;そのための指導の工夫の意図、手立て&gt;

不安を解消できるよう、学習の順序や具体的な内容を段階的に説明するなどの配慮をする。

**6 対人関係への不安が強く、他者の体に直接触れることが難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ

&lt;そのための指導の工夫の意図、手立て&gt;

仲間とともに活動することができるよう、ロープやタオルなどの補助用具を用いるなどの配慮をする。

**7 自分の力をコントロールすることが難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ

&lt;そのための指導の工夫の意図、手立て&gt;

状況に応じて力のコントロールができるよう、力の出し方を視覚化したり、力の入れ方を数値化したりするなどの配慮をする。

**8 勝ち負けや記録にこだわり過ぎて、感情をコントロールすることが難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ

&lt;そのための指導の工夫の意図、手立て&gt;

状況に応じて感情がコントロールできるよう、事前に活動の見通しを立てたり、勝ったときや負けたとき等の感情の表し方について確認したりするなどの配慮をする。

**9 グループでの準備や役割分担が難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ⑧人間関係形成の困難さ

&lt;そのための指導の工夫の意図、手立て&gt;

準備の必要性やチームで果たす役割の意味について理解することができるよう、準備や役割分担の視覚的な明示や生徒の実情に応じて取り組むことができる役割から段階的に取り組ませるなどの配慮をする。

**10 保健の学習で、実習などの学習活動に参加することが難しい場合**

【10の視点】から予想される困難さ（例） ①見えにくさ ②聞こえにくさ

&lt;そのための指導の工夫の意図、手立て&gt;

実習の手順や方法が理解できるよう、それらを視覚的に示したり、一つ一つの技能を個別に指導したりするなどの配慮をする。

## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～芸術（音楽）編、音楽編～



高等学校学習指導要領解説芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 芸術（音楽）の配慮例】

#### 1 音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など）を知覚することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手  
\* 記憶に関する困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

要素に着目しやすくできるように、音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりするなどして、要素の表れ方を視覚化、動作化するなどの配慮をする。なお、動作化する際は、決められた動きのパターンを習得するような活動にならないよう留意する。



### 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「音楽」の配慮例】

#### 1 音楽を形づくっている要素（音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など）を知覚することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手  
\* 記憶に関する困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

要素に着目しやすくできるように、要素の表れ方を視覚化、動作化するなどの配慮をする。なお、動作化する際は、決められた動きのパターンを習得するような活動にならないよう留意する。

#### 2 音楽を聴くことによって自分の内面に生まれる様々なイメージや感情を言語化することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ②聞こえにくさ \* 言語活動の苦手さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

表現したい言葉を思い出すきっかけとなるよう、イメージや感情を表す形容詞などのキーワードを示し、選択できるようにするなどの配慮をする。



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～芸術（美術）編、美術編～



高等学校学習指導要領解説芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 芸術（美術）の配慮例】

#### 1 形や色彩、材料などの変化を見分けたり、

微妙な変化を感じ取ったりすることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒の実態やこれまでの経験に応じて、造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを例示することや、主題に応じて一人一人が自分に合ったものを選ぶように、多様な材料や用具を用意したり種類や数を絞ったりするなどの配慮をする。



### 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「美術」の配慮例】

#### 1 形や色彩などの変化を見分けたり、

微妙な変化を感じ取ったりすることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ (例) ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒の実態やこれまでの経験に応じて、造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを例示することや、一人一人が自分に合ったものを選ぶように、多様な材料や用具を用意したり種類や数を絞ったり、造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを例示したりするなどの配慮をする。

#### 2 造形的な特徴などからイメージを捉えることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ①見えにくさ \* 形や様子を抽象的に捉えることが苦手

<そのための指導の工夫の意図、手立て>

形や色彩などに対する気付きや豊かなイメージにつながるように、自分や他の人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定するなどが考えられる。



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～芸術（工芸 書道）編～



高等学校学習指導要領解説芸術(音楽 美術 工芸 書道)編 音楽編 美術編  
に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 芸術（工芸）の配慮例】

- 1 形や色彩、素材などの変化を見分けたり、  
微妙な変化を感じ取ったりすることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ①見えにくさ \*形や様子を抽象的に捉えることが苦手

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒の実態やこれまでの経験に応じて、造形の要素の特徴や働きが分かりやすいものを用意して実際に触れてみたり使ってみたりすることや、目的や条件、機能などに応じて一人一人が自分に合ったものを選べるように、いくつかの材料や用具を用意したり種類や数を絞ったりするなどの配慮をする。



### 【高等学校 芸術（書道）の配慮例】

- 1 自らの意図にふさわしい用具・用材の選択や扱い方を理解することや、書を構成する複数の要素を結び付けて考えたり、再現する手順を考えたりすることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ①見えにくさ ⑨読み書きや計算等の困難さ

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

用具・用材を体験的に使用する機会を設けたり、書を構成する要素をグループ分けや優先順位を付けて示すなどして、主体的に思考、判断しながら学習を進められるよう配慮をする。



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～家庭編（高等学校）～



高等学校学習指導要領解説家庭編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 家庭の配慮例】

#### 1 作業に見通しをもつことが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

例えば、調理や被服製作などの完成までの過程を、順番が分かるように写真やイラスト、実物や標本などを用いて、具体的に示すなどの工夫が考えられる。作業を行う際には、指示を一つずつ出すなど分かりやすい指示を心がけるとともに、適切な時間を設定するなど注意に集中できるよう工夫する。

作業を安全かつ円滑に進めるために、実習室等の学習環境の整備については、例えば、調理器具や食器などの収納場所をイラストや写真等で示したり、可燃物と不燃物のゴミ箱を色分けしたりするなど視覚的な工夫をすることも考えられる。



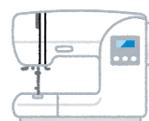
#### 2 集団場面での口頭による指示や理解が難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

例えば、包丁、アイロン、ミシンなどの使用に際して、事故を防止する方法を理解できるよう、全体での指導を行った後、個別に指導したりするなどの工夫をすることも考えられる。



## 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「家庭」の配慮例】

### 1 調理や被服製作などの実験・実習の全体像を俯瞰ふかんすることが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

学習の見通しをもてるよう、活動をはじめる前に、その内容や手順を説明して、安心して取り組めるようにする。そして、手順や方法を写真やイラスト、実物や標本など視覚的に示すとともに、指示を一つずつ出すなどわかりやすい指示を心がけることが大切である。

### 2 集団場面での口頭による指示や理解が難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

例えば、包丁、アイロン、ミシン、薬品などの使用に際して、事故を防止する方法を理解できるよう、全体での指導を行った後、個別に声かけをして指導することなども考えられる。

### 3 集団の中で学習することが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）⑧人間関係形成の困難さ

#### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

安心して授業に取り組めるよう、無理のない形で段階的にグループ学習から、徐々に時間を増やしていくことなどが考えられる。



障がいのある生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～情報編①～



高等学校学習指導要領解説情報編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 情報の配慮例】

#### 1 コンピュータ等の画面が見えにくい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ①見えにくさ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

情報を的確に取得できるよう、文字等を拡大したり、フォントを変更したり、文字と背景の色を調整したりするなどの配慮をする。



#### 2 コンピュータ等の発する音が聞き取りにくい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ②聞こえにくさ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

情報を的確に取得できるよう、音の代わりに光や振動、画面上の表示で伝えたり、スピーカーを適切な位置に設置したり、また、音量の調整やヘッドホンの使用などの配慮をする。



#### 3 キーボードによる文字入力やマウス操作等の動作に困難がある場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ③道具の操作の困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

コンピュータ等の操作が可能となるよう、レバー操作型のコントローラーなどの入力手段を使えるようにするなどの配慮をする。



#### 4 コンピュータ等の画面上の文字を目で追って読むことに困難がある場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ⑨読み書きや計算等の困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

どこを読んでいるのかが分かるよう、読んでいる箇所をハイライト表示や反転表示などの配慮をする。

#### 5 コンピュータ等を扱いながら、指示を聞くことに困難がある場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

同時に二つの作業が重なることがないように、まずは手を止めるよう指示をしてから次の話をするなどの配慮をする。



#### 6 集中して学習を継続することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

見通しをもって学習に取り組めるよう、学習活動の手順を視覚化して明示したり、スモールステップで学習を展開できるようにしたりするなどの配慮をする。

#### 7 自ら問題解決の計画を立てたり設計したりすることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ⑨読み書きや計算等の困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒が学習に取り組みやすくなるよう、あらかじめ用意した計画や設計から生徒が選択したり、それらの一部を改良する課題に取り組めるようにしたりするなど、段階的な指導を行うなどの配慮をする。

## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～情報編②～



高等学校学習指導要領解説情報編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「情報」の配慮例】

#### 1 コンピュータ等の画面が見えにくい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ①見えにくさ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

情報を的確に取得できるよう、生徒の見え方に応じて、フォントを適切に選択したり、拡大したり、文字と背景の色を調整したりするなどの配慮をする。



#### 2 コンピュータ等の発する音が聞き取りにくい場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ②聞こえにくさ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

情報を的確に取得できるよう、音の代わりに光や振動、画面上の表示で伝えたり、スピーカーを適切な位置に設置したり、音量の調整やヘッドホンの使用などの配慮をする。



#### 3 キーボードによる文字入力やマウス操作等の動作に困難がある場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ③道具の操作の困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

コンピュータ等の操作が可能となるよう、レバー操作型のコントローラーなどの入力手段を使えるようにするなどの配慮をする。



#### 4 生徒が車椅子等を使用する場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）④移動上の制約

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

車椅子の移動に支障をきたさないよう、机と机の間の距離、配線など床の突起物等についても配慮をする。



#### 5 コンピュータ等の画面上の文字を目で追って読むことに困難がある場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）⑨読み書きや計算等の困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

どこを読んでいるのかが分かるよう、読んでいる箇所をハイライト表示や反転表示などの配慮をする。

#### 6 コンピュータ等を扱いながら、指示を聞くことに困難がある場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

同時に二つの作業が重なることがないように、まずは手を止めるよう指示をしてから次の話をするなどの配慮をする。



#### 7 集中して学習を継続することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

見通しをもって学習に取り組めるよう、学習活動の手順を視覚化して明示したり、スモールステップで学習を展開できるようにしたりするなどの配慮をする。

#### 8 自ら問題解決の計画を立てたり設計したりすることが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例）⑨読み書きや計算等の困難さ

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

生徒が学習に取り組みやすくなるよう、あらかじめ用意した計画や設計から生徒が選択したり、それらの一部を改良する課題に取り組めるようにしたりなど、段階的な指導を行うなどの配慮をする。

## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～農業編～



高等学校学習指導要領解説農業編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「農業」の配慮例】

#### 1 実験・実習の全体像を把握できないなど学習活動への参加が困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続させることが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

学習の見通しをもてるように資料等で示すとともに、手順や方法の理解を促すよう実物を明示したり、実際の作業を例示したりするなど、全体の流れの中で、この作業にはどのような役割があり、どのようにつながっているかなど具体的に示すよう配慮する。

#### 2 機器の操作、薬品の使用などに伴う安全面の留意事項について、集団の場面での口頭による指示の理解が困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続させることが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

事故を防止する方法を理解しやすいよう、全体での指導を行った上で、個別に指導をしたり、実際の動作で示したりするなどの配慮を行う。



障がいのある生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～工業編～



高等学校学習指導要領解説工業編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「工業」の配慮例】

#### 1 実験・実習の全体像を俯瞰ふかんできないなど学習活動への参加が困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続することが苦手



##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

学習の見通しをもてるようにするため、それらの手順や方法の視覚的な明示や、全体の流れの中で何を学習しているのかを示すなどの配慮を行うことが考えられる。

#### 2 機械や装置類の操作、毒物及び劇物などの各種薬品や薬剤、可燃物の使用に際して、安全面などの留意点について、集団場面での口頭による指示の理解が困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

（例） ②見えにくさ ⑩注意の集中を持続することが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

事故を防止する方法を理解しやすいようにするため、全体での指導を行った上で、個別に指導を行うこと、実際に動作で示すことなど、配慮することが考えられる。



障がいのある生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～商業編～



高等学校学習指導要領解説商業編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「商業」の配慮例】

#### 1 実習において、その手順や方法を理解することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続させることが苦手

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

見通しがもてるよう、手順や方法を具体的に明示するなどの配慮をする。

#### 2 グループで活動することが難しい場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続させることが苦手

＜そのための指導の工夫の意図、手立て＞

他の生徒と協力する具体的な内容を明確にして役割分担するとともに、役割を果たすことができたかを振り返ることができるようにするなどの配慮をする。



障がいのある生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～看護編～



高等学校学習指導要領解説看護編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「看護」の配慮例】

#### 1 実習や演習を行う活動において、状況設定や実施方法を理解することが困難である場合

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続させることが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

見通しがもてるよう、実習や演習の手順等を具体的に明示したり、扱いやすい器具を用いたりするなどの配慮をする。



#### 2 温湯を用いる清拭や注射の準備などの危険を伴う学習活動

【10の視点】から予想される困難さ  
(例) ③道具の操作の困難さ ⑩注意の集中を持続させることが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

教師が確実に様子を把握できるよう配慮する。



障がいのある生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

**“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”**



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～水産編～



高等学校学習指導要領解説水産編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「水産」の配慮例】

#### 1 実験・実習の全体像を俯瞰<sup>ふかん</sup>できないなど学習活動への参加が困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続させることが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

学習の見通しをもてるようにするため、それらの手順や方法を視覚的に明示したり、全体の流れの中で今どこを学習しているのかを示したりするなどの配慮を行う。

なお、海洋や河川、湖沼などで実施する実習は天候や海況等の変化に伴う影響が考えられることから、見やすさ、聞き取りやすさなどへの十分な配慮が必要である。

#### 2 機器の操作、薬品や可燃物の使用などに伴う安全面の留意点について、集団場面での口頭による指示の理解が困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ②聞こえにくさ ⑩注意の集中を持続させることが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

事故を防止する方法を理解しやすいようにするため、全体での指導を行った上で個別に指導を行ったり、実際に動作で示したりするなどの配慮を行う。



障がいのある生徒などの学習において、教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替を安易に行うことがないように留意し、指導や手立てを工夫していくことが大切です。

“子どもの学力向上に責任を果たす！最大限に力を伸ばす！”



## 障がいのある児童生徒などへの配慮 ～福祉編～



高等学校学習指導要領解説福祉編に掲載されている内容をまとめました。

### 【高等学校 主として専門学科において開設される教科「福祉」の配慮例】

#### 1 学習に集中したり、持続したりすることが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑦心理的な不安定 ⑧人間関係形成の困難さ ⑩注意の集中を持続させることが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

学習への意欲を喚起するように学習環境を整理・整頓することや学習のルールや手順を視覚的に明示するなど教材・教具を活用すること、こまめに努力を認める声かけをすること、スモールステップによる学習、ペアやグループでの学び合い等学習方法を工夫することなどが考えられる。

その際、具体的に簡単な言い方で伝えること、おだやかに話しかけること、否定的な言葉を避けること、苦手なことよりも得意なことを認め、集団の中で当該生徒が生かされていると実感し、自信がもてるような工夫をするなどの配慮を行う。



#### 2 同時に複数の事項に注意を向けることが困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑩注意の集中を持続させることが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

優先順位が分かるように事項を減らしたり、活動の区切りを設けたり、指示事項や留意すべき点を示したカードを用いたりすることなどが考えられる。

#### 3 実験・実習の全体像を俯瞰ふかんできないなど、学習活動への参加が困難な場合

【10の視点】から予想される困難さ

(例) ⑨読み書きや計算等の困難さ ⑩注意の集中を持続させることが苦手

##### <そのための指導の工夫の意図、手立て>

学習の見通しをもてるようにするため、前もってそれらの手順や方法を視覚的に明示したり、全体の流れの中で今どこを学習しているかを示したりすることなどの配慮を行う。

(1) 一人一人の特性等に応じた必要な指導や支援のために  
～学習指導要領を中心に考える～

平成29年7月に示された小学校学習指導要領解説総則編、中学校学習指導要領解説総則編、平成30年7月に示された高等学校学習指導要領解説総則編では、特別支援教育において大切な視点を次のように述べています。

特別支援教育において大切な視点は、児童（生徒）\*<sup>1</sup>一人一人の\*<sub>2</sub>障害等により、学習上又は生活上の困難が異なることに十分留意し、個々の児童（生徒）の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を検討し、適切な指導を行うことがあると言える。

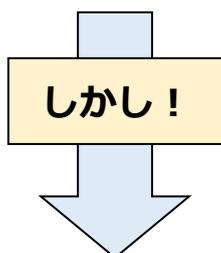
\* 1（生徒）は中学校・高等学校学習指導要領での表記

\* 2 下線は本資料作成に当たって福島県特別支援教育センターにおいて追記

(a) 特性に応じた指導や支援を行う前に、大切にしたい視点



障がいの種類や程度に関する知識は、私たちの教育の指導・支援の選択肢を広げます。  
そのことが、児童生徒の未来も広げます。



「児童生徒一人一人の」という視点がポイントです。  
障がいの種類や程度によって一律に指導内容や指導法が決まるわけではありません。



目の前の子どもに合わせて、何が効果的なのかは、本人・保護者、同僚等で話し合いながら決めていくことが大切です。障がいの状態や抱えている学習上又は生活上の困難さは一人一人違います。

だからこそ「児童生徒一人一人の」という視点で子どもの特性等を捉えていく姿勢が大切だと考えます。



(b) 特性に応じた指導・支援の【10の視点】

小学校、中学校、高等学校の「学習指導要領解説」における各教科等の解説では、障がいのある児童生徒などへの配慮事項について次のように述べています。

障害のある児童（生徒）\*<sup>1</sup>などの指導に当たっては、個々の児童（生徒）によって、見えにくさ、聞こえにくさ、道具の操作の困難さ、移動上の制約、健康面や安全面での制約、発音のしにくさ、心理的な不安定、人間関係形成の困難さ、読み書きや計算等の困難さ、注意の集中を持続することが苦手であることなど\*<sup>2</sup>、学習活動を行う場合に生じる困難さが異なることに留意し、個々の児童の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫することを、各教科等において示している。

\* 1（生徒）は中学校・高等学校学習指導要領で表記

\* 2 下線は本資料作成に当たって福島県特別支援教育センターにおいて追記



学習活動を行う場合に生じる困難さについて、学習指導要領解説では次の困難さを記載しています。

- ①見えにくさ
- ②聞こえにくさ
- ③道具の操作の困難さ
- ④移動上の制約
- ⑤健康面や安全面での制約
- ⑥発音のしにくさ
- ⑦心理的な不安定
- ⑧人間関係形成の困難さ
- ⑨読み書きや計算等の困難さ
- ⑩注意の集中を持続することが苦手

\* この視点以外にも、様々な困難さが考えられることにも留意が必要です。

学習上の困難さに対して、全ての各教科等の学習指導要領解説において、その指導内容や指導方法の工夫を示しています。その際、各教科等の目標や内容の趣旨、学習活動のねらいを踏まえ、学習内容の変更や学習活動の代替えを安易に行うことがないように留意するとともに、児童生徒の学習負担や心理面にも配慮する必要があります。

当センターでは、この記載のある10の項目を【10の視点】と位置付けています。



今回の学習指導要領で示されている各教科等の指導内容や指導方法の工夫の具体的内容は、福島県特別支援教育センターWebサイトで『障がいのある児童生徒などへの配慮』の中で紹介しています。

私たちの指導・支援の幅を広げることで、  
子どもたちの学びのチャンスが広がります！